



# 52 Sounds社

SOLIDWORKSソリューションで音楽とエンジニアリングへの情熱を一つに結実

## お客様事例



エンジニアであり、音楽アーティストでもあるAkash氏は、SOLIDWORKS製品開発ソリューションを活用して52 Sounds社を設立しました。その発明品であり、特許出願中のInfinity Pedal Moduleには革新的なモジュール式アプローチが採用されており、プロのギタリストは、ツアー時にギターフットペダルボードを容易に管理、拡張、運搬できます。



### 課題:

音楽とエンジニアリングへの情熱を一つに結実させるために、革新的なモジュール式ギター フット ペダル システムを始めとする製品を迅速に開発し、プロミュージシャンの日々のパフォーマンスに貢献する。

### 解決策:

SOLIDWORKS for Startupsプログラムの一環として、**3D**EXPERIENCE Works製品開発ソリューションを導入する。

### 結果:

- モジュール式ギター フット ペダル システム (特許出願中) を開発
- シミュレーションでモジュール式ギター フット ペダ ル プラットフォームを検証
- · 3Dプリントで製造コストを削減
- クラウド内のコアを使用してシミュレーションのパフォーマンスを向上

Akash Dighe氏は、機械エンジニアとしてキャリアをスタートさせ、宇宙船のソーラーパネルからレーシングカー、米国陸軍・空軍が採用したドローン防御用高エネルギーレーザーシステムに至るまで、複雑なハイエンドシステムの設計を手掛ける会社に勤めていました。いまやニューメキシコ州に拠点を置く音楽機器製品開発会社と録音スタジオを兼ねる52 Sounds社の創業者兼オーナーとなったDighe氏は、4歳からエンジニアを志し、幼少期にはもっぱらモノを分解しては組み立てる日々を過ごしていました。年を重ねるにつれて、ギター、作曲、音楽制作、演奏への情熱も深めていきました。

それぞれ別々の道で音楽とエンジニアリングへの情熱を活かし、昼間は複雑な装置を設計し、夜は音楽アーティストAKASHとしてライブ活動を行っていました。しかし、2023年にはエンジニア職を辞職し、コンサートツアーに出るようになりました。そこで音楽とエンジニアリングにかけている情報を1つに結集できることに気づき、52 Sounds社を設立し、ミュージシャン、プロデューサー、製品開発者、機械エンジニアという役割を一手に引き受けることにしました。AKASH氏は2024年1月に52 Sounds社を設立し、すぐに新しい製品アイデアに取り組みました。



「音楽とエンジニアリングへの情熱を結 実させるまで長くて苦しい長い道のりで、 それをやり遂げるためにSOLIDWORKS ツールが必要でした」

- Akash Dighe氏、創設者、オーナー、機械エンジニア、 プロミュージシャン

高校から大学、就職先まで、SOLIDWORKS®設計ソフトウェアを使用してきたAKASH氏は、会社の設立前に、すでにいくつかのコンセプトに取り組んでいました。音楽機器製品の開発にSOLIDWORKSを選択したのは、そのソリューションに精通し、成功した実績があったからです。52 Sounds社は、SOLIDWORKS for Startupsプログラムの一環として、設計、シミュレーション、データ管理、ビジュアライゼーションの各ソリューションを取得しました。これにより、3DEXPERIENCE®と、プラットフォーム上のExpandedポートフォリオの製品開発ソリューションを利用できるようになりました。

AKASH氏は次のように説明します。「以前は他のCADシステムを使用していましたが、SOLIDWORKSに匹敵するものはありません。SOLIDWORKSは精度が非常に高く、製品の開発にSOLIDWORKSは必須です。SOLIDWORKSが3Dプリンタと連動できる点も評価しています。これは重要な製造方法です」

# 革新的なモジュール式ギター フット ペダル システム(特許出願中)

AKASH氏が音響スタジオの建設、2枚目のスタジオアルバム『Perpetual Motion』の制作、プロのミュージシャンとしてのライブ活動を通じて得た経験が、日々の音楽活動を向上させる楽器製品のアイデアを生み出すための洞察とインスピレーションを提供しました。こうしたアイデアの1つが、ギターフットペダルを管理する革新的なモジュール式アプローチの開発でした。最終的にこれがInfinity Pedal Moduleとなりました。

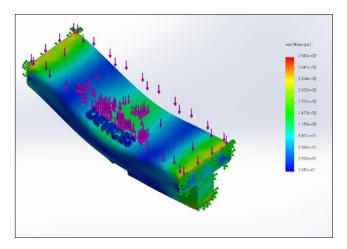
ギタリストは舞台上でフットペダルの並びを調整し、楽器の音を変えます。こうしたペダルは、合板、板金などの下地の上に取り付けられることが多く、一般的にペダルボードと呼ばれます。演奏者がペダルを増やそうとしたとき、特にボード上のスペースが不足している場合、ペダルボードを組み立て直す必要があり、そうするとサイズが非常に大きくなり、扱いにくく運びにくくなる可能性があります。AKASH氏は、モジュール式のフットペダルとペダルボードを考案しました。これにより、新しいペダルを簡単に増やすことができます。

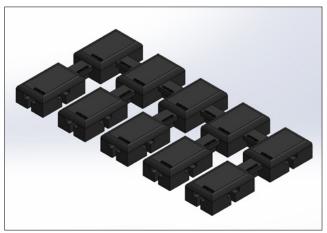
「Infinity Pedal Moduleにはモジュール式のスライドとスナップイン式のカンチレバー ビームが採用されているため、演奏者はペダルとその基礎構造を簡単に増やすことができます」とAKASH氏は説明します。「ギタリストは、ペダル (パーツA)と基礎構造 (パーツB)を接続し、それをボードに接続するだけで、ボードをすばやく簡単に拡張できます。Infinity Pedal Moduleは特許出願中で、特許は2026年に認可される予定です。SOLIDWORKSはこの目標の達成に大きく貢献してくれました」

### SOLIDWORKS SIMULATIONで設計性能を検証

52 Sounds社は、SOLIDWORKS設計ツールだけでなく、SOLIDWORKS Simulationの静解析機能を利用して、モジュール式ペダルが設計どおりに動作することを検証し、確認しました。「ペダル ボードは、さまざまな体格の演奏者によって踏みつけられます」とAKASH氏は指摘します。「ツアー中、ペダル ボードはいろいろと酷使されます。

「モジュール式ペダル ボードのコンポーネントは、単独で使用するときも、相互に接続しグループとして使用するときも、頑丈で構造的に安定していなければなりませんでした。ツアー中に演奏者が安心してプレイできますから」とAKASH氏は強調します。「SOLIDWORKSの静的シミュレーションと、クラウドの追加のコンピューティングコアを使用して、ソリューションを短期間で実現し、試作品を迅速に作成して、製品の開発を加速し、耐久性を向上させることができました。Infinity Modular Pedalは、プ





52 Sounds社は、**3DEXPERIENCE**プラットフォームの、クラウド環境の SOLIDWORKS設計およびシミュレーション ツールを利用して、ギター ペダル ボードを構築するためのモジュール式スライドおよびスナップイン 式カンチレバー ビーム方式を開発しました。ペダル ボード コンポーネントを単独で使用する際も、相互に接続してグループとして使用する際も、頑丈で構造的に安定しているため、演奏者はツアー中に安心してペダル ボードを使用することができます。

口のミュージシャンのパフォーマンスを向上させるために開発している「Infinite Devices」シリーズの第一弾です。日常的に活動するミュージシャンがツアー中に困り、克服しなければならない課題について知りました。52 Soundsのデバイスはすべて、そうした苦労を軽減するうえで重要な役割を果たすことになるでしょう。こうした製品を開発する際、SOLIDWORKS Simulation ソリューションを最大限に活用します」

AKASH氏は、カリフォルニア大学アーバイン校に 在学中に製造ラボを運営した経験があったため、 その経験を活かしてSante Fe Business Incubator と提携し、Archimedes Fab Labを復旧し、稼動させ ました。52 Sounds社は3Dプリンタを使用し、従来 の製造工程よりもコスト効率の高いモジュール式 ペダルの製造をすでに始めています。

「民間のエンジニアリング契約を獲得できたこと で、当社は製造ニーズを自己資金で賄い、熱可塑 性樹脂を材料とするInfinity Pedal Modulesの生産 開始に向けて3Dプリンタを6台購入し、2025年5月 末から受注生産を開始しました」とAKASH氏は語 ります。「音楽とエンジニアリングへの情熱を結実 させるまで長くて苦しい長い道のりで、それをやり 遂げるためにSOLIDWORKSツールが必要でした」

**52 Sounds** 

240 Canada Wau White Rock, NM 87547 **USA** 

電話:+1 505 920 9206

www.52sounds.us

販売代理店:GoEngineer(米国ニューメキシコ州ア ルバカーキ)

### 製品:

- SOLIDWORKS for Startups
- 3DEXPERIENCE SOLIDWORKS CAD
- 3DEXPERIENCE SOLIDWORKS Simulation
- 3DEXPERIENCE SOLIDWORKS Visualize
- Collaborative Industry Innovator
- 3DSwymer

ダッソー・システムズは、人々の進歩を促す役割を担います。1981年以来、バーチャル世界を開拓し続け、消費者、 患者、そして市民のより良い生活を実現しています。

ダッソー・システムズの3DEXPERIENCEプラットフォームを活用することで、あらゆる規模、業種の37万社のお客様が、共同作業、想像、そして価値ある影響 を及ぼす持続可能な技術革新を可能にしています。

詳細については、www.3ds.com(英語)、www.3ds.com/ja(日本語)をご参照ください。



**3D**EXPERIENCE

ヨーロッパ / 中東 / アフリカ

Dassault Systèmes 10, rue Marcel Dassault CS 40501 78946 Vélizy-Villacoublay Cedex France

#### アジア太平洋地域

Dassault Systèmes 17F, Foxconn Building, No. 1366, Lujiazui Ring Road Pilot Free Trade Zone, Shanghai 200120 China

#### アメリカ大陸

Dassault Systèmes 175 Wyman Street Waltham, Massachusetts 02451-1223



**3DEXPERIENCE**, 3DSコゴ、Compassアイコン、IPWE, 3DEXCITE, 3DVIA、BIOVIA、GATIA、CENTRIC PLM、DELMIA、ENOVIA、GEOVIA、MEDIDATA、NETVIBES、 XX人にあよびラントサイコ商業豊田所に基連指手等3.22 の名4ので登録したBIの場合社(Socialisa Buopasa)であるダンツ・ンテオムズ、表には、アンリカ合線 落線または高線です。その他すべての路線は、各所有者に帰属します。Dassalu、Sistemasだはその子会社の商標を使用するには、明示的な書面上の許可及。 2025 © D OUTSCALE, S